セマグルチド・チルゼパチド使用時の診療の流れ

肥満症外来への紹介

かかりつけ医療機関

フローチャートで適応を確認し、
琉球大学病院 肥満症外来あてにご紹介をお願いします

肥満症外来初診

初診時に行うこと

初診時検査(血液検査、尿検査など)
初診時アンケート
初回栄養指導

診療の流れを説明します

セマグルチド・チルゼパチド開始前減量プログラム

6か月

プログラムの内容

2か月毎に通院
定期検査(血液検査、尿検査など)
体重の推移、家庭血圧、食事内容のチェック
栄養指導、外来診察

この6か月間の体重推移や検査データをみて
薬物療法を開始するかどうか決定します

検査入院

1週間程度の入院で精密検査を行います
※食事療法のため1か月ほど入院してもらう場合もあります

入院中に行うこと

二次性肥満の除外、肥満関連健康障害の評価
腹部CT、腹部超音波、終夜睡眠ポリグラフ
栄養指導、行動療法、運動療法
体重、血圧、食事の記録方法を習得

セマグルチド・チルゼパチド開始

セマグルチド：68週
チルゼパチド：72週

プログラムの内容

1～2か月毎に通院
定期検査(血液検査、尿検査など)
体重の推移、家庭血圧、食事内容のチェック
栄養指導、外来診察

1か月毎(最初の4か月)
2か月毎(～終了まで)に通院

※チルゼパチドを使用する場合、
2026年3月31日までは
2週間毎の通院となります

セマグルチド・チルゼパチド終了後減量プログラム

6か月～

プログラムの内容

2か月毎に通院
定期検査(血液検査、尿検査など)
体重の推移、家庭血圧、食事内容のチェック
栄養指導、外来診察

終了後の体重推移や検査データをみて
そのまま経過をみるか、薬物療法を再開するか決定します

通院終了